

◎ 聴解問題スクリプト

Track 22

13番 女子学生と男子学生が、教育学のゼミで、中学校の教師の役割について話しています。この女子学生は、中学校の教師はどうすべきだと考えていますか。

女子学生：小学校では、ほとんどの科目を一人の担任の先生が教えますが、中学校では、科目ごとに違う先生が教えるようになりますね。

男子学生：はい。小学校のときは、担任の先生がいつも自分のクラスにいるから、子どもにとって、頼りになる存在です。でも中学校では、その科目の時にしか会わないので、先生とは距離が遠くなりますね。

女子学生：そうなんです。だから私は、子どもたちが心細く感じないように、それぞれの科目の先生が、子どもたちの話を聞いたりして、積極的に接していくべきだと思います。

男子学生：そうでしょうか。中学生になると、友達の変化が大きくなるから、もう先生にはあまり頼らなくなるんじゃないでしょうか。

女子学生：でも、友人関係で悩むときもありますよね。中学校では、複数の先生が子どもに接しているんですから、先生同士が連携して、いち早く子どもの変化に気づいて、手を差し伸べられるといいんじゃないでしょうか。

この女子学生は、中学校の教師はどうすべきだと考えていますか。

1. 子どもたちが、先生に頼らないで自立できるように指導すべきだ。
2. 子どもたちと友人のような付き合いをしていくべきだ。
3. 違う科目の先生が協力し合って、子どもたちを支援していくべきだ。
4. それぞれの担当の科目について、知識を交換すべきだ。

Track 23

14番 先生が、ヒマワリという花について話しています。この先生が話した実験から、ヒマワリについてどんなことがわかりましたか。

ヒマワリという名前は、太陽の動きにつれて花が向きを変えてまわる、というところからつけられたと言われています。

そこで、これが本当かどうか、ヒマワリの、光に対する反応を調べる実験をしました。温度や湿度や風などの影響を受けないように暗い実験室の中に、花が開いているヒマワリとまだつぼみの状態のヒマワリの2種類を置きました。そして光を、太陽の動きと同じように、まず東側から4時間、次に真上から4時間、最後に西側から4時間当てました。

すると、花が開いているヒマワリは、光の動きに対してほとんど動きませんでした。一方、つぼみは光の方を向きながら動いたのです。

この先生が話した実験から、ヒマワリについてどんなことがわかりましたか。

1. 花は、光が当たる方向を向いて咲くこと
2. 光に当たる時間が長いとつぼみが開くこと
3. つぼみは、光の動きに反応すること
4. つぼみの間は、東を向いていること

Track 24

15番 先生が、ペンギンという動物について話しています。この先生の話によると、ペンギンが、長い時間水の中に潜っていることができるのは、どうしてですか。

ペンギンは、えさを求めて水中に潜ります。長い時には1回の息継ぎで約20分も潜っていることがあります。しかし、ペンギンの肺は、20分間に必要と思われる酸素を蓄えられるほど大きいものではありません。では、ペンギンが水中に長く潜れる秘密は、どこにあるのでしょうか。

ペンギンは周りの気温の変化に関係なく、体温を一定に保つことができる動物です。しかし、水の中に潜っている時には、どうやら体温を下けているようです。体温を下げることによって、体の機能が低下した状態を作り出し、体が消費する酸素の量を少なくしているのです。それで、ペンギンは、より長く水中に潜っていることができるのです。

この先生の話によると、ペンギンが、長い時間水の中に潜っていることができるのは、どうしてですか。

1. 水中でも、陸にいるときと同じ体温を保つことができるから
2. 大きな肺にたくさんの空気をためておくことができるから
3. 水中でも呼吸をすることができるから
4. 水中では酸素をあまり使わないようにできるから

16番 男子学生と女子学生が話しています。この女子学生は買ったまま読んでいない本についてどう考えていますか。

男子学生：研究に関係ありそうな本、ずいぶん買ったんだけど、全然読まないで積んだままなんだ。

女子学生：そういう本、わたしもけっこうあるよ。

男子学生：ほんと？ でも、読まないんじゃ意味ないよな。売ろうかな。

女子学生：全然読んでないって言っても、目次ぐらいは見てるわけでしょ？

男子学生：そりゃ、目次ぐらいはね。

女子学生：ってことは、何について書いてあるかはわかってるよね。

男子学生：うん、まあ。

女子学生：だったら、気にしないで持ってたほうがいいよ。

男子学生：えっ？

女子学生：専門の本なんだから、なんかのときに、あつ、あの本に書いてあったって必要になることがあるはずだよ。

男子学生：うーん、そう言われればそうかもね。

この女子学生は買ったまま読んでいない本についてどう考えていますか。

1. 必要ないので売ったほうがいい。
2. 専門書なので全部読んだほうがいい。
3. 必要なときに読めるように持っていたほうがいい。
4. その本を必要とする人にあげたほうがいい。

17番 先生が、スポーツ科学の授業で、水泳の練習方法について話しています。この先生は、どのような方法がよいと言っていますか。

私が子どものころは、水泳の練習といえば、ただひたすら泳ぐというのが、一般的でした。何度も泳ぐ中で、私はある時、手のひらで水をかくときは、加速をつけてかいたほうが、速く泳げるということを発見しました。自分なりのコツを見つけたのです。

今ではスポーツ科学も進んで、どうすれば抵抗の少ない姿勢で速く進めるか、ということがわかっています。コーチはそれに基づいて、効率的な指導ができるようになりました。ですから、よいコーチにつき、その指導に従っていれば、効率よく上達するのかもしれませんが、しかし、自分自身で発見する喜びは、何ものにも代え難いものです。私は、子どもたちに、試行錯誤しながら、自分の体でコツを発見してもらいたいと思います。それが本当の意味で、スポーツを楽しむことにつながると思うからです。

この先生は、どのような方法がよいと言っていますか。

1. スポーツ科学に基づいて効率的に行う。
2. 何度も繰り返して練習する。
3. よいコーチについて指導を受ける。
4. 自分で工夫しながらよい泳ぎ方を見つける。

18番 女子学生と男子学生が、農業化学演習の授業で聞いた害虫を防ぐ方法について話しています。女子学生が、この方法で最もいいと言っているのは、どんな点ですか。

女子学生：今日の授業で聞いたやり方、すごいよね。今はこんなものがあるんだね。

男子学生：あの、人体にはほとんど影響を与えないで、害虫が減らせるっていうの？

女子学生：そうそう。今までの直接作物にかける薬とは違って、オスを誘う物質でオスを別の場所に集めて、オスとメスが出合わないようにするってやり方。卵を産ませないようにして、害虫の発生数を減らすっていうアイデアがすごいよね。

男子学生：うん、確かに、生まれる害虫が少なくなれば、今までみたいに時間とお金をかけて殺す必要もなくなるからいいよね。害虫とはいっても生き物を殺すのって嫌だもんね。

女子学生：そうだね。でも、やっぱり一番いいのは作物に薬をかけなくて済むってことだよ。害虫は殺せても、薬のかかった作物が私たちの口に入るのは安心できないからね。

女子学生が、この方法で最もいいと言っているのは、どんな点ですか。

1. 害虫が発生する数を減らせる点
2. 害虫を殺すのに必要な時間とお金を減らせる点
3. 人が食べる作物への農薬の使用を減らせる点
4. 生き物を殺さなくてすむ点

Track 28

19番 先生が、睡眠と記憶に関する実験について話しています。この先生の話によると、この実験で、Bのグループの記憶に残りやすいのは、どんな単語ですか。

睡眠と記憶との関係について、おもしろい実験があります。十分な睡眠をとったグループをAとし、36時間寝ずに起きていたグループをBとして、同じ単語を見せて覚えてもらいました。その後、両グループとも十分睡眠をとってもらい2日後に、どのくらい覚えているのかをテストしたところ、予想どおり、36時間寝ずに起きていたBグループはAグループに比べて、覚えていた単語の数が少ないという結果になりました。

さらに、単語を肯定的な感情を表すもの、否定的な感情を表すもの、どちらでもないものの3種類に分けて分析したところ、Aグループでは肯定的な単語と否定的な単語の違いによる差はあまり見られませんでした。しかし、睡眠不足であったBグループでは、興味深い結果が出たのです。肯定的な感情を表す単語は覚えていた数が非常に少なかったのですが、否定的な感情を表す単語はそれほど影響を受けていなかったのです。

この先生の話によると、この実験で、Bのグループの記憶に残りやすいのは、どんな単語ですか。

1. 肯定的な感情を表すもの
2. 否定的な感情を表すもの
3. 肯定的な感情と否定的な感情を表すもの
4. どちらの感情でもないもの

Track 29

20番 女子留学生と男子留学生がスピーチコンテストの応募について話しています。この女子留学生は、何を頑張ると言っていますか。

女子留学生：留学生スピーチコンテストの原稿、どう？

男子留学生：あ、もう書けたよ。

女子留学生：えっ、早いねえ。

男子留学生：でも、スピーチの長さが問題でね。5分程度ってなってるだろう？ ぼくのは、6分ちょっとになっちゃうんだ。これでもいいかなあ。

女子留学生：どうかなあ。やっぱり時間は守らなくちゃいけないんじゃない？

男子留学生：そうかあ。じゃ、少し書き直さなきゃ。君のほうはどう？

女子留学生：まだ、全然。たぶんぎりぎりになりそう。

男子留学生：5分以内ってこと？

女子留学生：ちがう、ちがう。原稿が出来上がるのが、よ。

男子留学生：なんだ。でも、覚える時間もちゃんととらなきゃ。

女子留学生：そうね。うん、じゃ、まずは原稿から頑張らなくちゃね。

この女子留学生は、何を頑張ると言っていますか。

1. 原稿を仕上げること
2. 原稿を書き直すこと
3. 原稿を短くすること
4. 原稿を覚えること

Track 30

21番 先生が、プラネタリウムについて話しています。この先生は、現在の日本のプラネタリウムに必要なことは何だと言っていますか。

プラネタリウムとは、丸いドーム型の天井に星空を映して、天体の動きを見ることが出来る施設のことです。最近のプラネタリウムは、立地条件のよさや、いかに本物のような星空を映し出すかといった、設備の立派さを重視する傾向にある気がします。しかし、私は、プラネタリウムは、星空の美しさを表現するだけのものではなく、映像を通して、星や宇宙について考えてもらうきっかけとなる情報を提供する場であるべきだと思っています。そのためには、どうすれば人が宇宙に興味を持ってくれるかを考え、映像作りの工夫をしていくべきでしょう。

この先生は、現在の日本のプラネタリウムに必要なことは何だと言っていますか。

1. 本物の星空を忠実に映し出すように工夫すること
2. 多くの人々が来られるように便利な場所に作ること
3. 最先端の技術を導入して設備を整えること
4. 人々が宇宙について興味を持つきっかけを提供すること

Track 31

22番 学生が、ゼミで、雑誌の読書量について発表しています。この学生は、中学生・高校生の雑誌の読書量が変化した原因は何だと考えていますか。

日本の小学生、中学生、そして高校生が、1か月にどのくらい雑誌を読むかという調査が毎年行われています。今年の調査結果を見ると、小学生の平均は1か月に4.7冊で、前年度とほとんど変わりがないんですが、中学生と高校生はやや減少しています。この中高生の変化については、インターネットの影響が考えられます。中学生や高校生がよく読むと言われている情報誌やファッション誌などに載っている情報が、インターネットで簡単に手に入るようになったからです。一方、小学生がよく読む雑誌はマンガで、これはインターネットで公開されていませんから、結局雑誌を読むことになるようです。

この学生は、中学生・高校生の雑誌の読書量が増えた原因は何だと考えていますか。

1. 学年が上がるにつれて雑誌よりも本を読むようになったこと
2. 見たい情報が雑誌からでなくても得られるようになったこと
3. パソコン自体のほうに興味に移ったこと
4. インターネットでマンガが読めるようになったこと

Track 32

23番 アナウンサーが、男性の職業についてインタビューをしています。この男性は、港でどんな仕事をしていますか。

アナウンサー：えー、港でお仕事をされているということですが、具体的には、どんなことをなさっているんですか。

男 性：港で船を安全に誘導する仕事です。どの港にも、その場所特有の潮の流れとか風の向きがありますし、港ごとの決まりもあったりするんです。

アナウンサー：はい。

男 性：どんなベテランの船長でも、世界中の港のことを知り尽くすことはできませんよね。そこで、その港周辺の水域の専門家である私たちが船に乗り込んで、安全に、スムーズに到着したり出港したりできるように、船長にアドバイスするわけです。

この男性は、港でどんな仕事をしていますか。

1. 船長がいないとき代わりに船を操縦する。
2. 港に出入りする船を陸から監視する。
3. 世界中の港の情報を集めて提供する。
4. 港での船の出入りを、その船に乗って手助けする。

Track 33

24番 先生が、商店街を活性化する方法について話しています。この先生は、この活性化の方法がなかなか実現しなかった原因は何だと言っていますか。

近年、地方都市では郊外的大型店に買い物客が流れてしまい、町の中心の商店街がさびれてしまうという問題が起こっています。その対策として歩行者天国を実施する商店街が増えてきました。歩行者天国は、商店街へ車が入るのを禁止して、人が道路を自由に歩けるようにするというもので、車が入ってこないのが安全に買い物を楽しむことができます。しかし、これまでは、商店街を歩行者天国にすると周辺の道路が渋滞する可能性があるということで、地元警察は道路の使用許可を出すのに慎重でした。そのため、あまり実施されてきませんでした。ところが、国が中心市街地の空洞化を心配して地元警察に働きかけたことで、以前より許可がおりやすくなりました。今、全国で効果が期待されています。

この先生は、この活性化の方法がなかなか実現しなかった原因は何だと言っていますか。

1. 警察の許可が取りにくかったこと
2. 商店街のまわりで交通事故が増えていたこと
3. 郊外的大型店に行く人が多かったこと
4. 商店街に車で入れないので不便だったこと

Track 34

25番 先生が、健康のための食生活について話しています。この先生は、本当に健康にいい食事とはどんなものかと言っていますか。

健康のためにはバランスのよい食生活が大切だとよく言われます。確かに必要な栄養素を、適切な量、摂取することは病気を予防し、健康につながります。しかし、様々な研究の結果、いくら栄養のバランスが取れた食事でも、おいしくない料理では、免疫機能を低下させるホルモンが増加し、体を守る機能が低下してしまうことがわかりました。反対に、香りや見た目のよい料理は気持ちを和らげ、楽しい気分になることから、食欲が出て、免疫力が増したのです。つまり完璧な栄養計算からだけでは、本当に健康によい食事を作ることはできないということですね。

この先生は、本当に健康にいい食事とはどんなものかと言っていますか。

1. 体にいい栄養素をできるだけたくさん取り入れた食事
2. 栄養バランスをきちんと計算した食事
3. 栄養ばかりでなく、味や香りや見た目も考えた食事
4. 食べすぎないように、摂取量を控えめにした食事

Track 35

26番 先生が、授業で話しています。この先生は、高齢者に対する支援として、今後はどうするのがいいと言っていますか。

高齢者に対する福祉や支援と聞くと、介護という言葉を思い浮かべる人も多いようですが、福祉に対する従来の考え方を、根本から変えてみてはどうでしょうか。

私は、これからは、高齢者が働ける職場を創出していくという考え方も必要だと思うのです。高齢者は、働くことで頭や体を動かすことができますし、また、社会に貢献していると感じることで、気持ちも元気になれるのではないのでしょうか。現在では、こういった考え方に着目し、実際に高齢者がいきいきと活躍できる産業の振興に努めている市町村も増えているようです。

この先生は、高齢者に対する支援として、今後はどうするのがいいと言っていますか。

1. 高齢者を介護する施設を充実させる。
2. 高齢者が働ける環境をつくる。
3. 高齢者に対する支援者の数を増やす。
4. 高齢者向けの商品を開発する。

Track 36

27番 先生が、フクロウという鳥について話しています。この先生は、フクロウの耳が人の耳と異なる点は何だと言っていますか。

フクロウは、主に夜活動する夜行性の鳥です。光の入らない実験室でもフクロウは床を走るネズミを捕らえることができます。これは、獲物の出す音の位置を正確に感じとっているからです。フクロウの耳は、私たち人間と同じように左右に離れているので、音が両方の耳に届くわずかな時間のずれで、その音が左右方向のどの位置から来ているのかわかります。フクロウはさらに、二つの耳の高さも上下に少しずれているので、左右の場合と同様に、上下方向でも音の到達時間のずれをキャッチできるのです。

このようにしてフクロウは暗やみでも獲物をとることができるのですね。

この先生は、フクロウの耳が人の耳と異なる点は何だと言っていますか。

1. 左右のどの方向から音がきているかがわかる。
2. 上下のどの方向から音がきているかがわかる。
3. わずかな音でも聞きとることができる。
4. 動いているものがどれくらいの大きさかわかる。